

## 難聴者に聞こえやすい「ミライスピーカー」

－タイで音のバリアフリー化を目指す－

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社サウンドファン(東京都台東区、佐藤和則代表取締役)が提案する「難聴者向けスピーカーの導入にかかる社会的弱者の社会進出に向けた案件化調査」(タイ)を採択しました。

タイでは1970年代以降、60才以上の老年層人口が増加の一途をたどっており、2030年には人口の25%に達すると予測されています。それに伴い、増加が見込まれる難聴者に対するインフラ整備等の対応が求められています。

株式会社サウンドファンが開発した「ミライスピーカー」の曲面サウンドは、難聴者の「聞こえ」をサポートし、さらに、健聴者にも遠くまでハッキリとクリアな音を伝えられる、世界初の特許技術です。国内では、空港や区役所などの公共施設だけでなく、大学やセミナー会場でも活用されています。



今回の調査では、バンコクの障害者向け施設に「ミライスピーカー」をパイロット導入し、効果を検証するとともに ODA 事業における活用に向けた現地政府機関との協議を行う予定です。

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行う。2012 年度から実施されており、2017 年度第 1 回分は今年 3 月に公示を行い、36 件が採択。(参考サイト：[https://www.jica.go.jp/press/2017/20170620\\_01.html](https://www.jica.go.jp/press/2017/20170620_01.html))

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 広報室報道課 宮田
TEL 03-5226-9780 e-mail : Miyata.Naoaki@jica.go.jp